

新規事業箇所調書

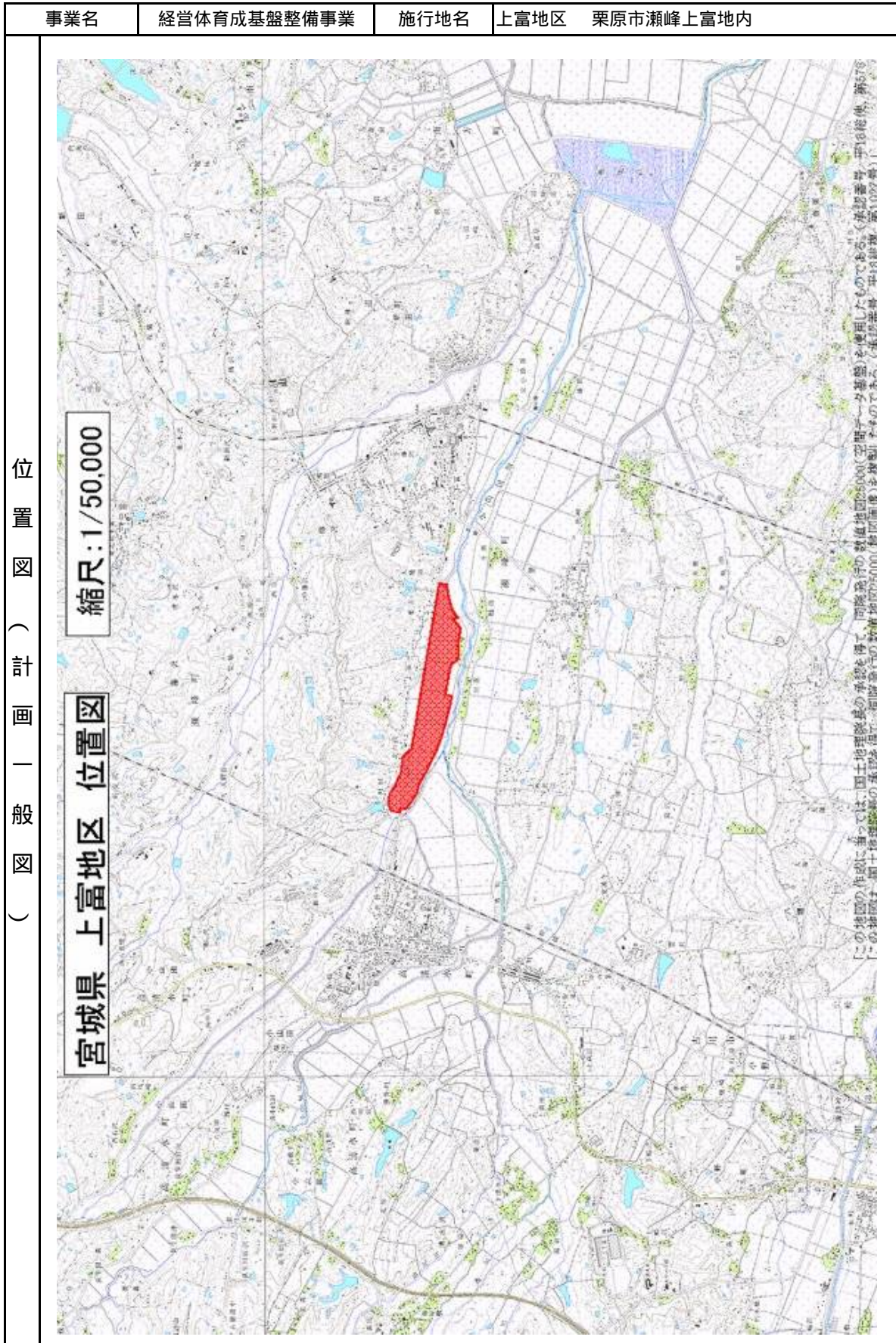
		調書作成年月日		平成21年 2月 6日																							
		事業担当課		農村整備課																							
事業名	経営体育成基盤整備事業(上富地区) (農地集積加速化型)		補助・単独の別		補助																						
					事業主体 宮城県																						
施行地名	くりはらしせみねかみとみ 栗原市瀬峰上富地内			管理主体 栗原市 小山田川沿岸土地改良区																							
根拠法令		土地改良法																									
事業の概要	事業目的																										
	<p>本地区は、宮城県の北部、栗原市瀬峰に位置し、地区の北側には県道古川佐沼線が走り、西側には一級河川善光寺川、南側から東側にかけて一級河川小山田川が流下する東西に細長い形状を呈し、稲作を中心とした水田地帯である。</p> <p>本地区の農地は、昭和30年代に10a区画に整備されているものの、用排水路が未分離でかつ農道が狭小なため、近代的な営農に支障を来しているとともに、担い手農家の育成が阻害されている状況にある。</p> <p>よって、本事業を導入し、区画形状の拡大、用排水路の完全分離化等を実施し、農業経営の近代化による生産性の安定を図るものである。</p>																										
	事業内容																										
	区画整理工 A = 49.5ha (標準区画1ha) 暗渠排水工 A = 49.5ha																										
	事業費																										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他(受益者)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">内用地費</td> <td style="text-align: center;">[55 %]</td> <td style="text-align: center;">[30 %]</td> <td style="text-align: center;">[5 %]</td> <td style="text-align: center;">[10 %]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6.25億円</td> <td style="text-align: center;">0.00億円</td> <td style="text-align: center;">3.43億円</td> <td style="text-align: center;">1.90億円</td> <td style="text-align: center;">0.30億円</td> <td style="text-align: center;">0.62億円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">金額は地方事務費を含まないもの。</p>				全体事業費		費用負担内訳				国	県	市町村	その他(受益者)		内用地費	[55 %]	[30 %]	[5 %]	[10 %]	6.25億円	0.00億円	3.43億円	1.90億円	0.30億円	0.62億円
全体事業費		費用負担内訳																									
		国	県	市町村	その他(受益者)																						
	内用地費	[55 %]	[30 %]	[5 %]	[10 %]																						
6.25億円	0.00億円	3.43億円	1.90億円	0.30億円	0.62億円																						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td colspan="4">平成21年度～平成26年度(6年間)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">用地買収着手予定年度</td> <td>平成 - 年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td colspan="2">平成23年度</td> </tr> </table>				事業期間		平成21年度～平成26年度(6年間)				用地買収着手予定年度		平成 - 年度	工事着手予定年度	平成23年度											
事業期間		平成21年度～平成26年度(6年間)																									
用地買収着手予定年度		平成 - 年度	工事着手予定年度	平成23年度																							
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">施設管理の予定</td> <td>施設項目</td> <td>道路工</td> <td colspan="2">用水路工・排水路工・揚水機場</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>管理区分</td> <td>栗原市</td> <td colspan="2">小山田川沿岸土地改良区</td> </tr> </table>				施設管理の予定		施設項目	道路工	用水路工・排水路工・揚水機場				管理区分	栗原市	小山田川沿岸土地改良区											
施設管理の予定		施設項目	道路工	用水路工・排水路工・揚水機場																							
		管理区分	栗原市	小山田川沿岸土地改良区																							

事業の必要性	上位計画等																				
	<p>上位計画 以下の各種計画において、優良農地として、大区画によるほ場の早期整備を推進することが位置付けられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬峰農業振興地域整備計画（平成12年3月） ・栗原市水田農業ビジョン（平成19年3月） ・みやぎ農業農村整備基本計画（平成18年4月） 																				
事業の有効性	事業を巡る社会経済情勢等																				
	<p>社会経済情勢</p> <p>(1) 用排水の管理状況 本地区の用水は、一級河川小山田川及び善光寺川から取水し、幹線用水路を経て地区内にかんがいされているが、地区内の水路は用排兼用の土水路であるため、水管理や除草等の維持管理に多大な労力及び費用を要している。</p> <p>(2) 農地の整備状況 本地区の農地は、昭和30年代の耕地整理事業により10a区画に整備されているものの、末端用排水路が未分離で、農道が狭小なため、大型機械の導入等による近代的な営農に支障を来しているとともに、担い手農家の育成が阻害されている状況にある。</p> <p>地元情勢、地元の意見</p> <p>(1) 関係市町村、受益者の合意状況 栗原市、小山田川沿岸土地改良区及び受益者と合意に達している。</p> <p>(2) 営農支援体制 経営体育成支援プロジェクトチーム設立予定（平成21年4月） 構成メンバー：栗原市、栗っこ農協、小山田川沿岸土地改良区</p> <p>(3) 地元の事業推進体制 上富地区ほ場整備推進委員会（平成14年12月設立）</p>																				
事業の効果	事業効果																				
	<p>想定される事業効果</p> <p>(1) 地域農業の中心となる担い手農家の育成が図られる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目 \ 区分</th> <th style="text-align: center;">現況</th> <th style="text-align: center;">計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">個別担い手農家(戸)</td> <td style="text-align: center;">4戸</td> <td style="text-align: center;">5戸</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 営農機械の大型化及び経営規模の拡大により、生産コストが低減する</p> <p>ア) 担い手経営体の地区内経営面積が農地集積により増加する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目 \ 区分</th> <th style="text-align: center;">現況</th> <th style="text-align: center;">計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">農地集積面積(ha)</td> <td style="text-align: center;">11.5(4.7)ha</td> <td style="text-align: center;">36.4(33.2)ha</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農地集積率(%)</td> <td style="text-align: center;">22.6(9.2)%</td> <td style="text-align: center;">73.6(66.9)%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">()内は面的集積(1ha以上の連担団地)</p> <p>イ) 担い手農家の労働時間が大幅に減少する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目 \ 区分</th> <th style="text-align: center;">現況</th> <th style="text-align: center;">計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">労働時間(hr/10a)</td> <td style="text-align: center;">20hr</td> <td style="text-align: center;">16hr</td> </tr> </tbody> </table>	項目 \ 区分	現況	計画	個別担い手農家(戸)	4戸	5戸	項目 \ 区分	現況	計画	農地集積面積(ha)	11.5(4.7)ha	36.4(33.2)ha	農地集積率(%)	22.6(9.2)%	73.6(66.9)%	項目 \ 区分	現況	計画	労働時間(hr/10a)	20hr
項目 \ 区分	現況	計画																			
個別担い手農家(戸)	4戸	5戸																			
項目 \ 区分	現況	計画																			
農地集積面積(ha)	11.5(4.7)ha	36.4(33.2)ha																			
農地集積率(%)	22.6(9.2)%	73.6(66.9)%																			
項目 \ 区分	現況	計画																			
労働時間(hr/10a)	20hr	16hr																			

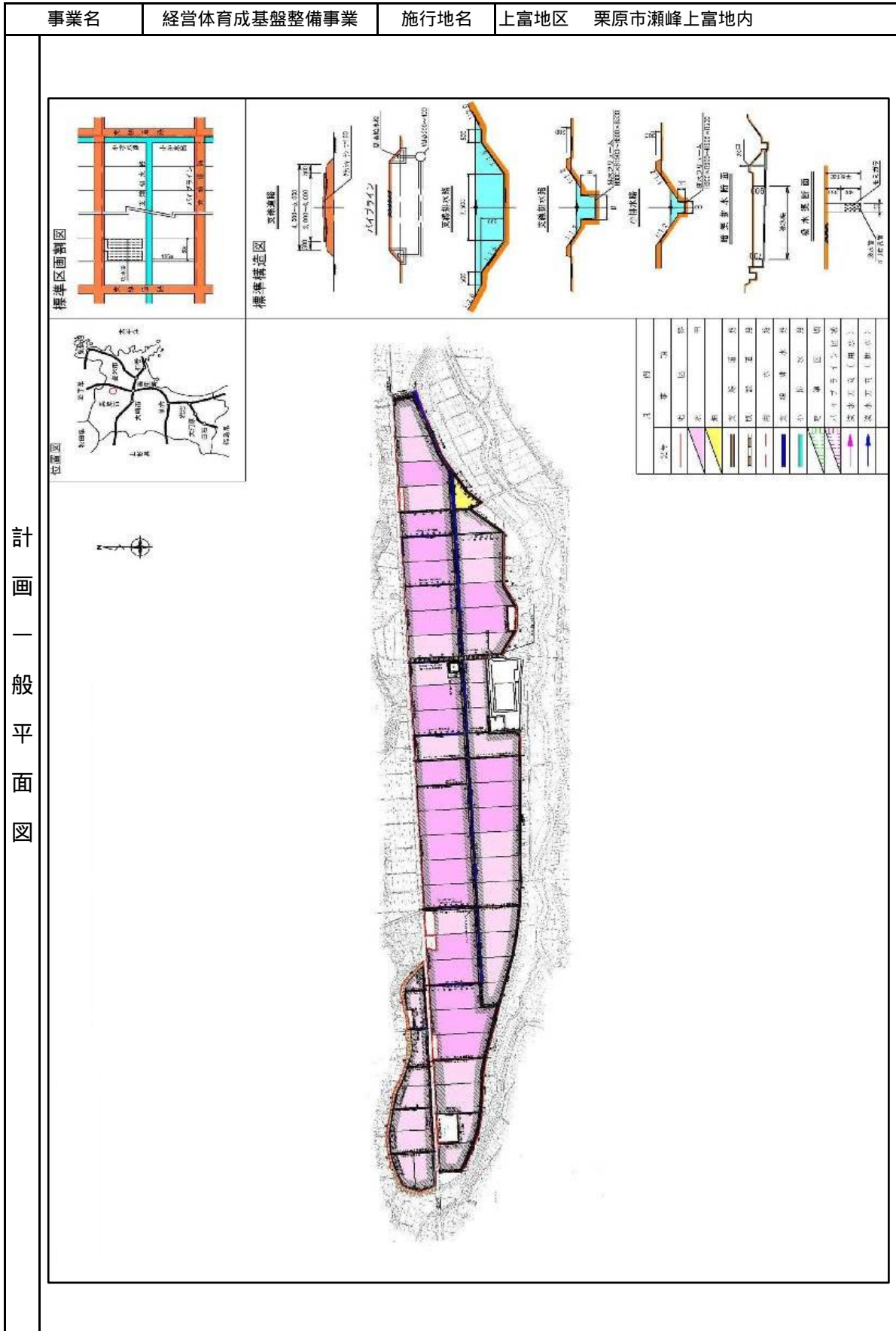
事業の有効性	ウ) 担い手農家の生産コストが減少する。		
	項目 \ 区分	現 況	計 画
	生産コスト(千円/10a)	198千円	94千円
	エ) 地区内の機械台数が減少する。		
	項目 \ 区分	現 況	計 画
	田植機	30台	13台
	トラクター	30台	28台
	コンバイン	28台	13台
	(3) 水田の汎用化により土地利用型作物の拡大が図られ、耕地利用率が向上する。		
	ア) 主な作物の作付け面積		
	項目 \ 区分	現 況	計 画
	水稲	45.5ha	37.7ha
	大豆	0.5ha	5.0ha
	ホルクropp サレージ	1.6ha	4.9ha
	イ) 耕地利用率		
	項目 \ 区分	現 況	計 画
	耕地利用率(%)	99%	100%
事業の効率性	関連事業の概要・進捗状況等		
	項目	工 期	進捗率
	県営かんがい排水事業 小山田川沿岸地区	昭和50年～平成15年	100%
	県営水質障害対策事業 柏木地区	昭和63年～平成6年	100%
	代替案との比較検討		
	<p>農作業の効率性を阻害している小区画水田や幅員の狭い耕作道路，土水路で狭小な用排水路を一体的に整備し，水田での水稲及び大豆等の生産性を向上させるとともに，担い手農家を育成するためには，本事業を導入することが最も有効であり，事業実施により，効率的で安定的な地域農業の確立を図るものである。</p>		
	コスト縮減計画		
	<p>現況区画（道・水路配置）を活用した再区画方式を採用するとともに，地区内から発生する既設排水フリーム等を再利用し，道水路整備や旧水路埋立等に係る事業費の縮減を図る。</p>		

事業の効率性	費用対効果						
	<p>根拠マニュアル：新たな土地改良の効果算定マニュアル（平成19年版） （農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課監修）</p> <p>社会的割引率： 4 % 便益算定期間： 46年 基準年：平成20年</p>						
	総費用 現在価値（C）	1,121,675千円					
	当該事業による費用	622,140千円					
	その他費用(関連事業等)	499,535千円					
	年総効果（便益）額	66,518千円					
	作物生産効果	25,652千円					
	営農経費節減効果	40,432千円					
	維持管理費節減効果	414千円					
	耕作放棄防止効果	20千円					
	評価期間（工事工期 + 40年）	46年					
	割引率	0.04					
	総便益額（B）	1,209,341千円					
総費用便益比（B / C）	1.07						
環境への影響と対策	地域指定状況等						
	該当なし						
総合評価	影響と対策						
	<p>本地区の排水は，地区外水路を経て河川に排水されており，河川から水路を伝って遡上する魚類が多く見られるため，魚類の遡上に配慮した排水路整備により，水路ネットワークの保全を図るとともに，支線排水路に魚類の休息場所を設置するなど，生息域の確保にも配慮する。</p>						
総合評価	事業箇所評価結果						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th rowspan="2">評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2位 / 12</td> <td>2箇所</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	2位 / 12	2箇所	-
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)				
2位 / 12	2箇所	-					
対応方針	事業実施						

事業概要図



事業概要図



計画一般平面図

事業箇所の状況等

事業名	経営体育成基盤整備事業	施工地名	上富地区 栗原市瀬峰上富地内
-----	-------------	------	----------------



現況のほ場は、10aと小区画であるため、大型農業機械の導入が進んでおらず、効率的営農の支障となっている。



農道の幅員が狭いため、営農車両のすれ違いが困難で、効率的な営農に支障をきたしている。